寸談　放談

思想なき日本人

いまの日本の青年にはやる気がないとよく言われる．筆者も直属の大学のほかに非常勤をやっていてかなり多くの大学生に接するが，たしかにそのとおりと感ずる．頭は比較的よさそうなのにやる気がない，やれと言われれば与えられたことは形どおりにはやるけれど，自分の内部から発露する強いあこがれに誘発されて，長期的計画にもとづいて強い意志によって刻苦勉励してゆこうというような人は皆無と言ってよい．

この原因として日本は経済的に恵まれすぎているからだとよく言われる．ハングリーでなければ人間はみずから進んで努力しようとはしない．蜂ですら年中花の咲いている冬のないところでは蜜を集めようとはしないのだという．それだから青年に活気を与えるためには世の中を貧困にしなければならない，といったような考えはパラドクスに陥るだけである．

筆者は，日本人には思想，あるいは哲学，あるいは宗教，なんと言ってもよいが，要するに，人生の本質を考える姿勢が欠けているためだと思う．確乎とした思想のあるところでは経済的な豊かさは，学問や芸術へのより大きな活力を人生に与えるはずである．これこそ人はパンのみによって生きるものではなく，神の言葉によって生きるということである．パンは決して人生の目的でなく，手段にすぎない．パンを目的とみる人はパンが得られれば活力を失う．

ユダヤ人たちがどれほど多く人類の文化に貢献したかは誰も異論をもたないと思う．ハイネ，マルクス，フロイド，アインシュタイン，メンデルスゾーン…，ちょっと思い出すだけでも学問芸術の最高峰にいかにユダヤ人が多いことだろう．彼らは古来神の選民として，旧約聖書にもとづく確乎とした思想のもとにユダヤ教典（タルムード）にしたがって生活をしてきた．一介の乾物屋のおやじさんですら今日1日の生活をタルムードに照らして反省し祈りをささげるという．彼らはつねに神，つまり人間の理想，をめざして努力する．

ユダヤ教の思想はやがてイエスによってキリスト教へと改革されたが，ヨーロッパの繁栄の影にはキリスト教的思想基盤があった．日本は明治以来欧米から科学技術の成果を学んだが，その思想的基盤であるキリスト教をごく一部の人を除いては，採り入れなかった．(現在日本人のキリスト教徒は1％以下，それに対して韓国人23％位のキリスト教徒がいる．)そればかりか，まがりなりにも身につけていた仏教，儒教思想も，第二次大戦以後は捨て去ってしまった．物質的な生活に役に立ち，目にみえて華やかなものはとり入れるが，目にみえない直接役に立たない思想は，抽象的観念的であるときめつけて，お払い箱にする．

韓国人は日本人を最も嫌っているという．それは言うまでなく古来日本人が韓国を侵略しいじめたからであるが，さらに彼らは日本人を軽蔑している．その理由は日本人の無思想，無節操さにある．日本人は金さえ儲かるなら誰とでも仲よくし，弱い者をいじめ強い者に卑屈である，というのが彼らの印象である．第二次大戦中鬼畜米英と叫んだ国民が1日にしてアメリカ様々になったのをみて，韓国人は軽蔑を通り越してあきれはてたとのことである．

いま日本は平和で，少なくとも物質的には繁栄の中にあるが，世界の情勢は決してそうではない．レバノンの内乱は一時的に停戦状態にあるとはいえ，依然として不安定，イランイラク戦争は泥沼化し，ニカラグア，ポンジュラス等中米の不穏な動き，ベトナムのカンボジヤへの，そしてリビアのチャドへの侵略，フィリピンの動乱，そしてポーランドやアフガニスタン等赤化弱小国の民衆の苦しみ，そして経済的に行き詰ってあせるソビエトの強引な蛮行．

こうしてみると日本の平和はまことに貴重なものであり，泰平の眠りの中で甘い見通しをしてはいられない気がひしひしとするのである．1日も早く確乎とした思想的基盤を打ち立て，世界の信頼を得て，動乱の世界を平和と繁栄に導びくためのきびしい努力が日本の青年に課せられた使命ではないだろうか．　(τ)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．